

# 2014年3月期第2四半期決算

2013年11月6日  
双日株式会社

## ■ 目次

I. 2014年3月期 第2四半期決算実績および通期見通し

II. 中期経営計画2014の進捗

III. 配当政策

【補足資料1】 セグメント情報

【補足資料2】 資源関連

【補足資料3】 決算実績サマリー

### 将来情報に関するご注意

資料に記載されている業績見通しは、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、業績を確約するものではありません。実際の業績等は、内外主要市場の経済状況や為替相場の変動など様々な要因により大きく異なる可能性があります。重要な変更事象等が発生した場合は、適時開示等にてお知らせします。

# I. 2014年3月期 第2四半期決算実績および通期見通し

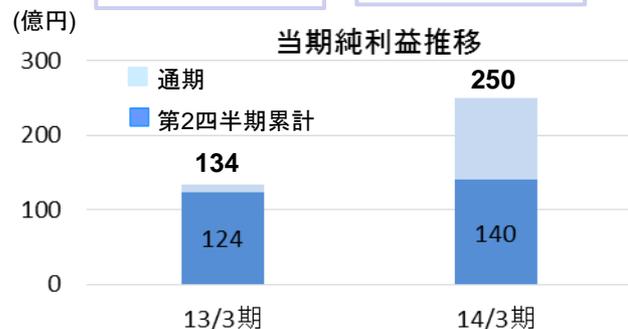
---

# ■ 2014年3月期第2四半期実績 PLサマリー

業績は第2四半期まで堅調に推移し、前年同期比増収増益

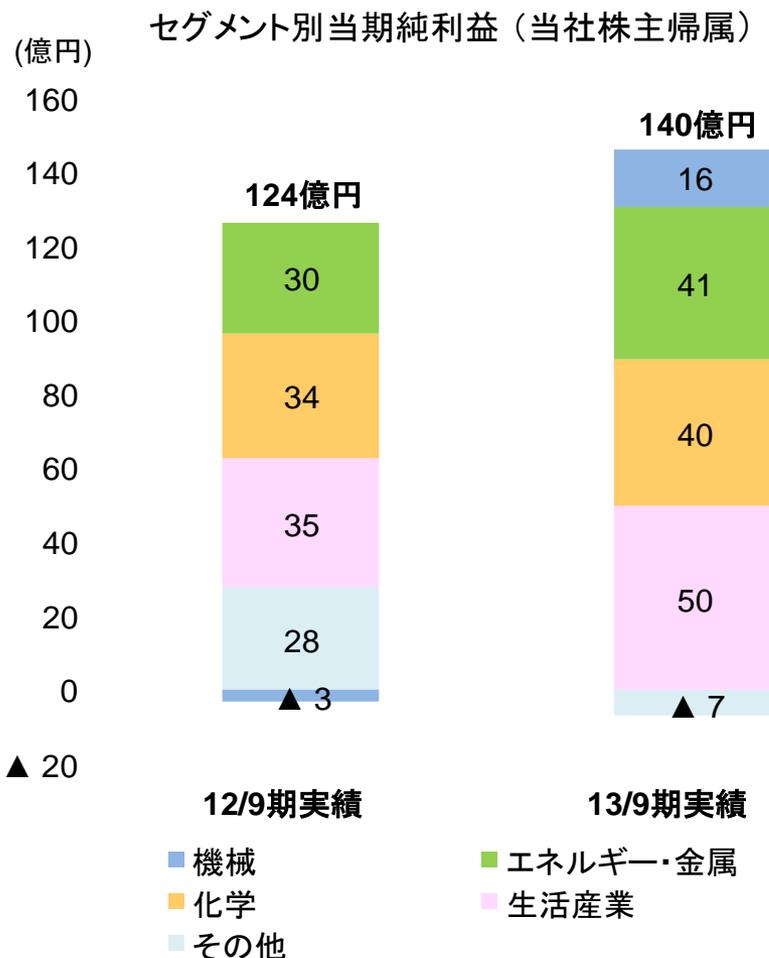
(億円)	12/9期実績	13/9期実績	前年同期比増減
売上高(日本基準)	19,598	20,022	+424
売上総利益	951	995	+44
営業活動に係る利益	194	213	+19
税引前利益	194	263	+69
当期純利益 (当社株主帰属)	124	140	+16
包括利益 (当社株主帰属)	▲130	430	+560
基礎的収益力	190	291	+101

14/3期見通し	進捗率
42,800	47%
2,090	48%
380	56%
450	58%
250	56%



# 2014年3月期第2四半期実績(セグメント別当期純利益)

海外自動車事業やアジアにおける化学品や肥料事業が堅調に推移し前年同期比増益

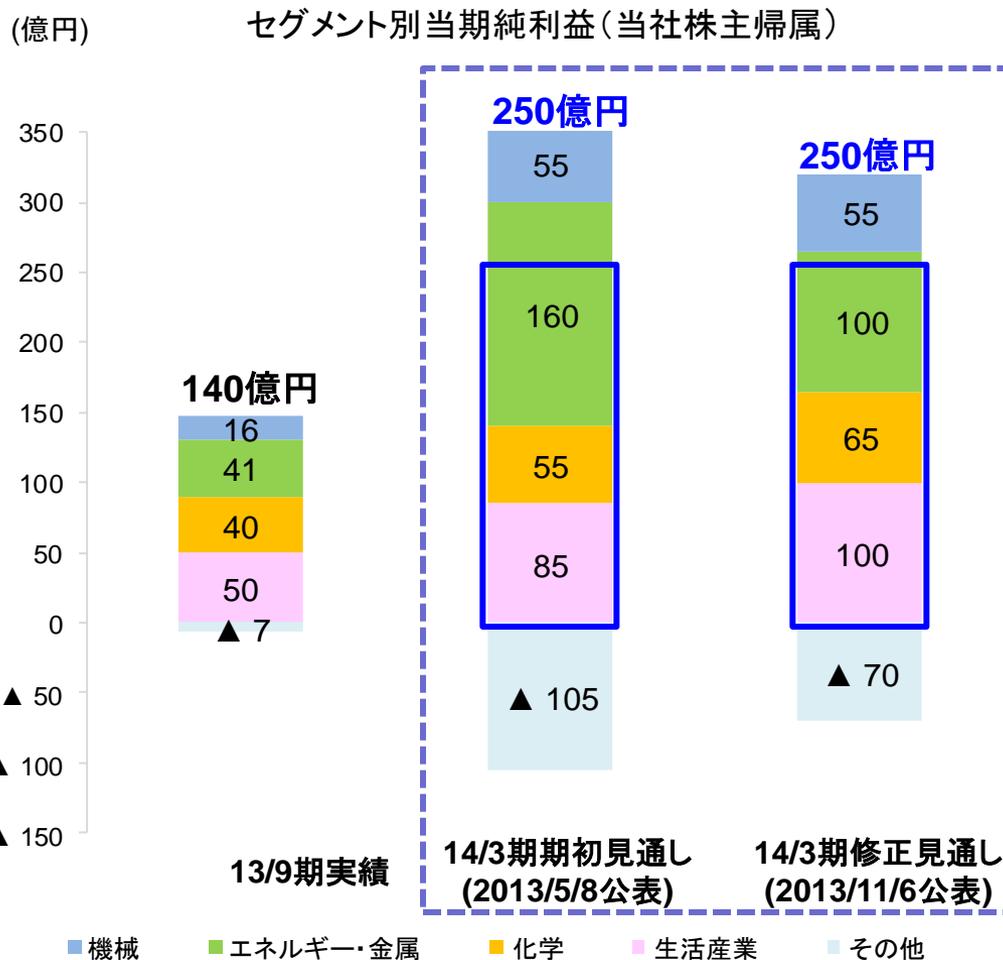


## 前年同期比増減要因

- 機械 16億円(前年同期比ー)  
海外の自動車事業が堅調に推移したことに加え、プラント関連取引の増加等により増益
- エネルギー・金属 41億円(前年同期比37%増)  
売上総利益は金属資源価格下落の影響や一部権益での減価償却費等コスト増加に伴い減益となるも、持分法による投資損益の改善や法人所得税費用の減少により、当期純利益は増益
- 化学 40億円(前年同期比18%増)  
アジア地域での化学品関連取引が堅調に推移したことなどにより増益
- 生活産業 50億円(前年同期比43%増)  
海外肥料事業が堅調に推移したことなどにより増益
- その他 ▲7億円(前年同期比ー)  
売上総利益は資産入替に伴う資産売却により増益となるも、法人所得税費用等の増加により、当期純利益は減益

# 2014年3月期通期見通し(セグメント別当期純利益)

足元の状況を踏まえ、セグメントの通期見通しを修正



## 2014年3月期見通し修正要因

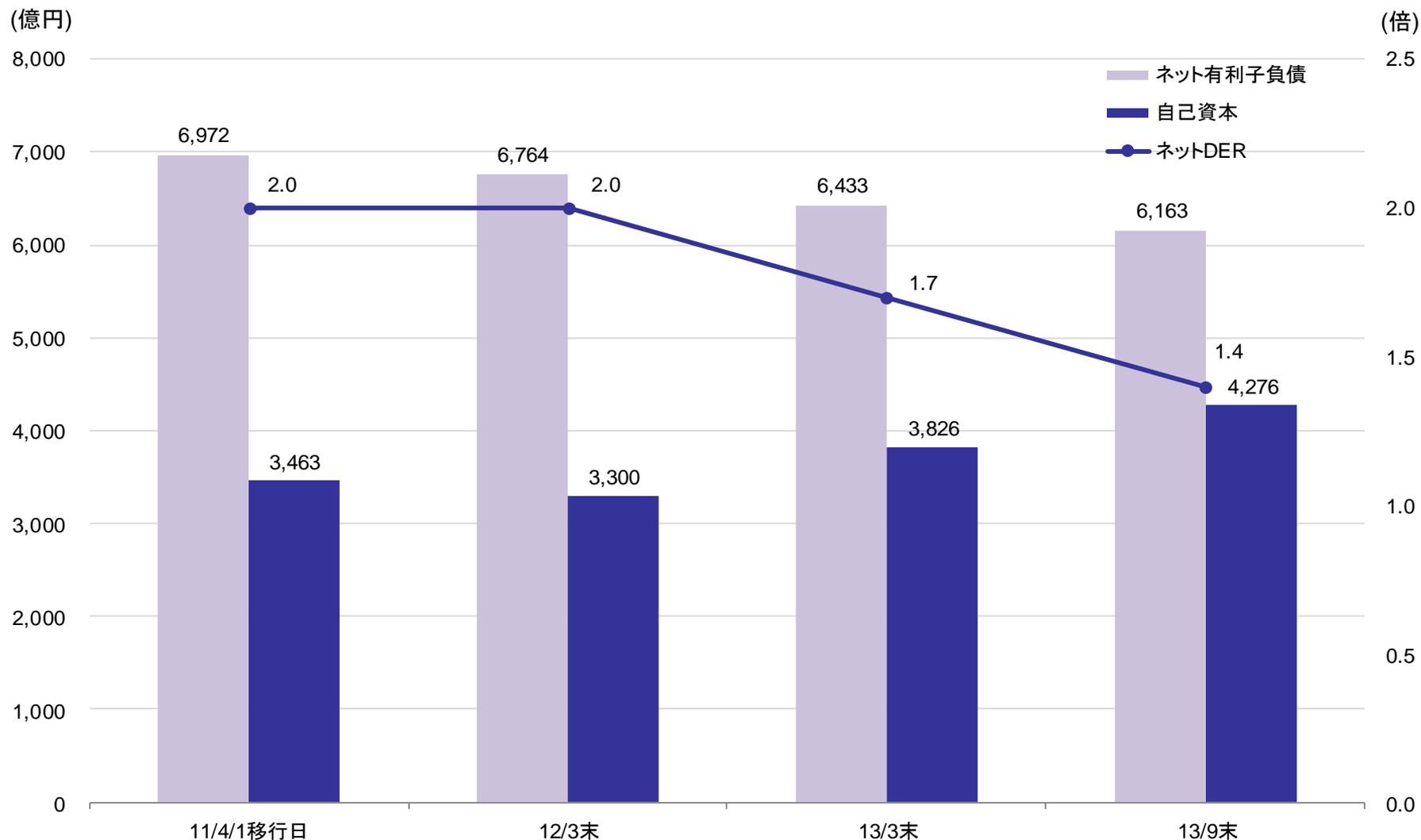
- 機械 55億円(変更なし)  
海外の自動車事業や、プラント関連取引が堅調に推移していることから、通期見通しの達成を見込む
- エネルギー・金属 100億円  
(▲60億円修正)  
金属資源価格の低迷や一部権益における減価償却費等コスト増加に伴い、通期見通しを修正
- 化学 65億円(+10億円修正)  
アジア地域での化学品関連取引の堅調な推移等により、通期見通しを修正
- 生活産業 100億円(+15億円修正)  
海外肥料事業が上期好調に推移したことを主要因として通期見通しを修正
- その他 ▲70億円(+35億円修正)  
資産入替に伴う資産売却に加え、その他の収益・費用の改善等を見込み、通期見通しを修正

## ■ 2014年3月期第2四半期実績 BSサマリー

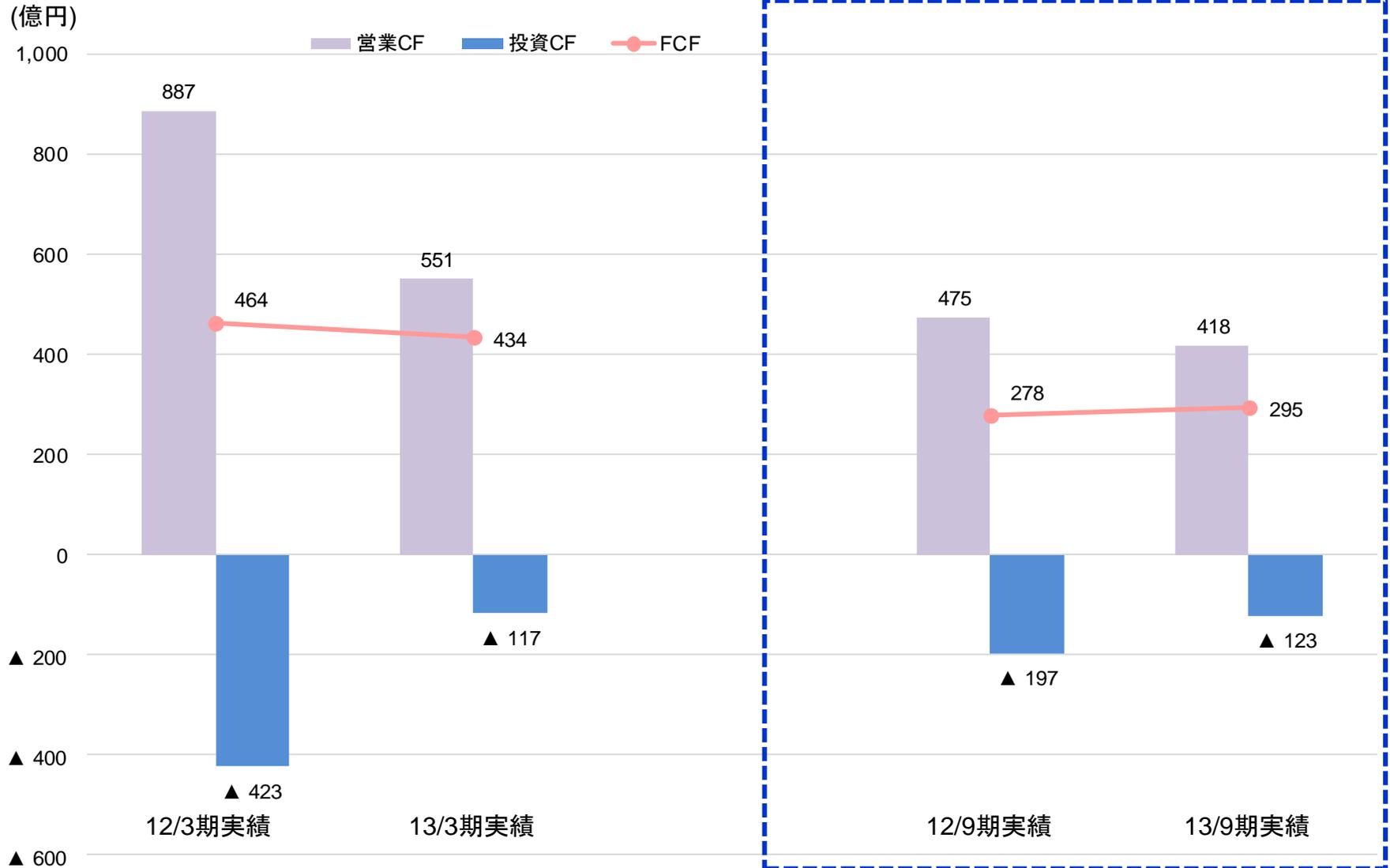
収益の積み上げ等により、自己資本が着実に改善

(億円)	11/4/1 移行日	12/3末	13/3末	13/9末	増減額
総資産	21,701	21,907	21,501	21,655	+154
自己資本	3,463	3,300	3,826	4,276	+450
リスクアセット (自己資本対比)	3,300 (1.0倍)	3,300 (1.0倍)	3,400 (0.9倍)	3,400 (0.8倍)	0 (▲0.1倍)
流動比率(%)	149%	143%	152%	164%	+12%
長期調達比率(%)	77%	73%	76%	80%	+4%
自己資本比率(%)	16.0%	15.1%	17.8%	19.7%	+1.9%
ネット有利子負債	6,972	6,764	6,433	6,163	▲270
ネットDER(倍)	2.0倍	2.0倍	1.7倍	1.4倍	▲0.3倍

## ■ ネット有利子負債・自己資本・ネットDERの推移



# 2014年3月期第2四半期 フリーキャッシュ・フロー



## ■ 商品、為替、金利の市況実績

	2012年度 市況実績 (年平均)	2013年度 市況前提(期初) (年平均)	2013年度 市況実績 (4~9月平均)	2013年度 市況前提(修正) (下期)	直近市況実績 (10月末時点)
原油(Brent)(※1)	\$110.1/bbl	\$105/bbl	\$106.3/bbl	\$105/bbl	\$108.8/bbl
石炭(一般炭) (※2)	\$93.2/t	\$95/t	\$92.5/t	\$85/t	\$85.8/t
モリブデン	\$12.1/lb	\$12.5/lb	\$10.1/lb	\$10.0/lb	\$9.7/lb
ニッケル(※3)	\$8.0/lb	\$8.0/lb	\$7.3/lb	\$6.7/lb	\$6.6/lb
銅(※3)	\$7,962/t	\$8,000/t	\$7,537/t	\$7,300/t	\$7,234/t
為替(※4)	¥83.3/\$	¥95.0/\$	¥98.6/\$	¥95.0/\$	¥98.5/\$
金利 (TIBOR)(※5)	0.31%	0.35%	0.23%	0.35%	0.22%

※1 原油の収益感応度は、\$1/bbl変動すると当期純利益(当社株主帰属)で約1億円の影響

※2 石炭の市況実績は、市場情報に基づく一般的な取引価格であり、当社の販売価格とは異なる

※3 ニッケル、銅については1月~12月の市況平均を記載

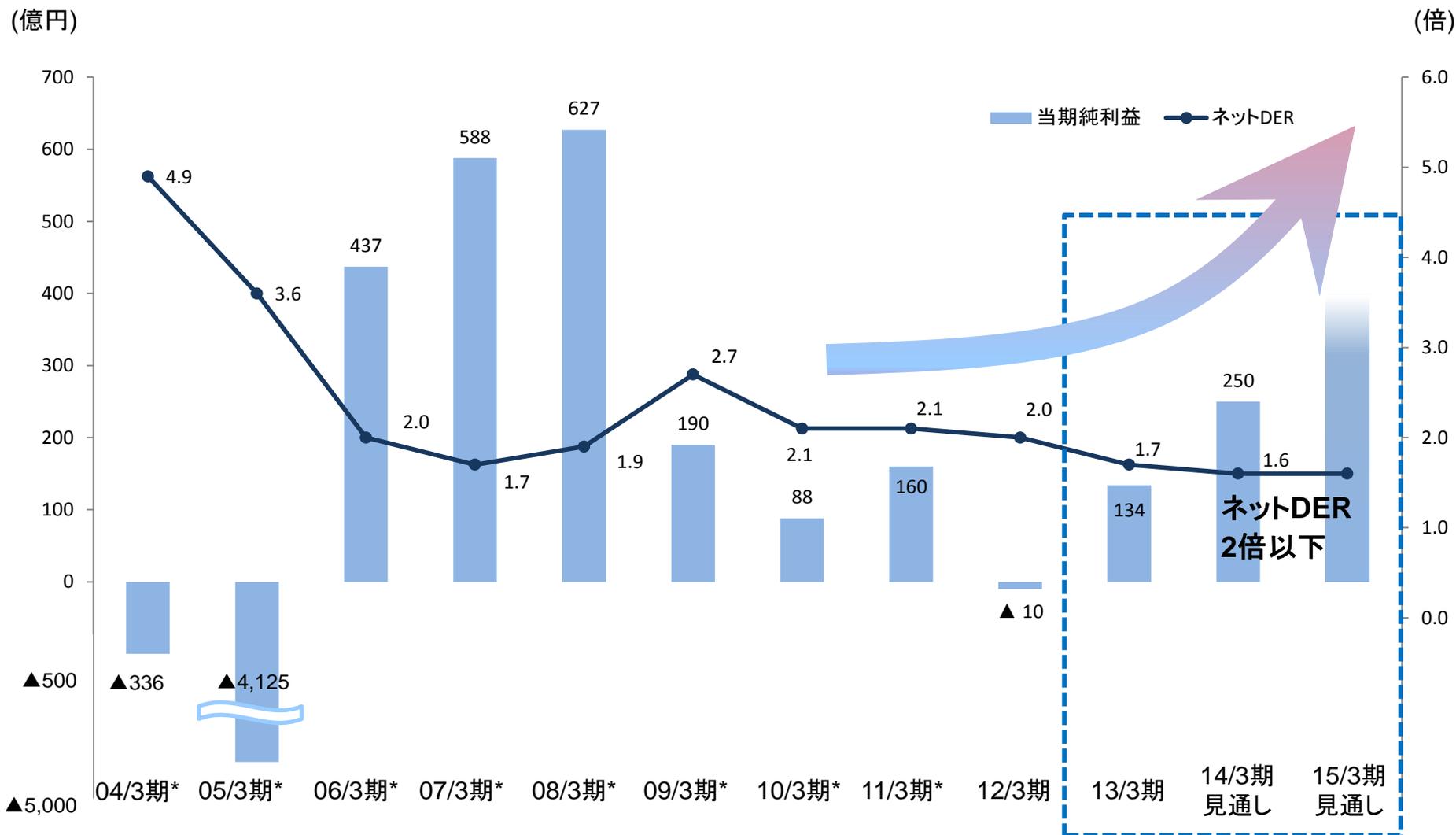
※4 為替(米ドルのみ)の収益感応度 ¥1/US\$ 変動すると、売上総利益で4億円程度、当期純利益(当社株主帰属)で2億円程度、自己資本で15億円程度の影響

※5 金利の収益感応度は、1%上昇すると年間+20億円程度の影響

## II. 中期経営計画2014の進捗

---

# ■ 実績数値・目標(当期純利益・ネットDER)

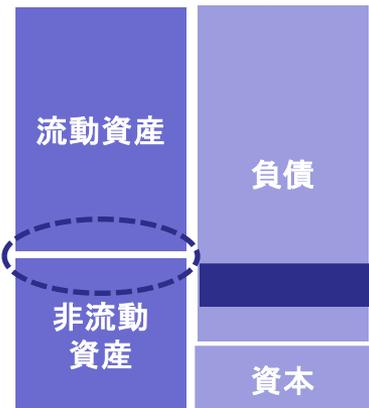


(\*)11/3期以前は日本基準

# ■ 中期経営計画2014の進捗 — 資産入替 —

資産の質を改善し、稼ぐ力を強化

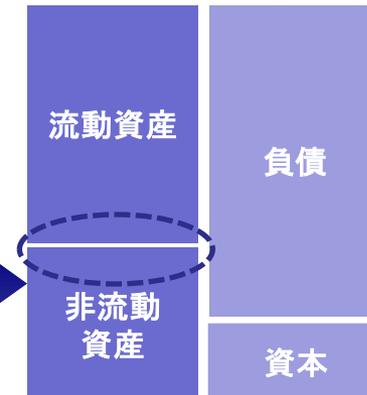
12/3末 総資産21,907億円



中期経営計画前半(12/4/1～13/9/30) 累計実績

投融資 640億円 (※1)  
 資産圧縮 1,140億円 (※2)  
 資金回収 810億円

13/9末 総資産21,655億円



(※2) 中計前半 主な資産圧縮実績

- ✓ 国内エネルギー関連事業売却
- ✓ 資源権益売却
- ✓ 国内不動産売却
- ✓ 海外機械関連保有株式売却

資産  
売却

投融資

(※1) 中計前半 主な投融資実績

- ✓ 資源権益獲得、拡張
- ✓ 中東IPP事業
- ✓ アフリカ水事業
- ✓ 太陽光発電事業
- ✓ インド工業塩事業

# ■ 中期経営計画2014の進捗 — 足元の状況 —

機械

エネルギー・金属

化学

生活産業

足元

中期経営計画2014において新規投融資を着実に実施  
全営業部門にコントローラー室を設置し、優良資産構築の実現へ

新規収益貢献案件

## 現行中期経営計画における投融資案件

◆ **IPP**  
(サウジアラビア)  
13年3月商業運転開始  
(オマーン)2件  
13年4月商業運転開始

◆ **石炭**  
権益拡張で生産量増加  
◆ **銅**  
15/3期に持分生産量  
8,000トンへ

◆ **インド工業塩**  
13年度より商業生産開始  
◆ **豪州レアアース**  
14年度より取扱数量  
増加予定

◆ **食料資源**  
将来の内需拡大を視野  
に、ベトナムやインドネシ  
ア等を中心に食料・消費  
材関連事業へ投資

収益基盤

## 前中期経営計画における投融資案件

◆ **自動車**  
ASEAN、ロシアNIS、  
中南米などの新興国  
での自動車販売

◆ **石油・ガス・LNG**  
大規模LNG事業に参画  
◆ **鉄鋼製品**  
日本最大の鉄鋼総合  
商社を通じて国内外へ  
販売

◆ **メタノール**  
年間取扱数量 100万ト  
◆ **1,400を超える取扱品目**

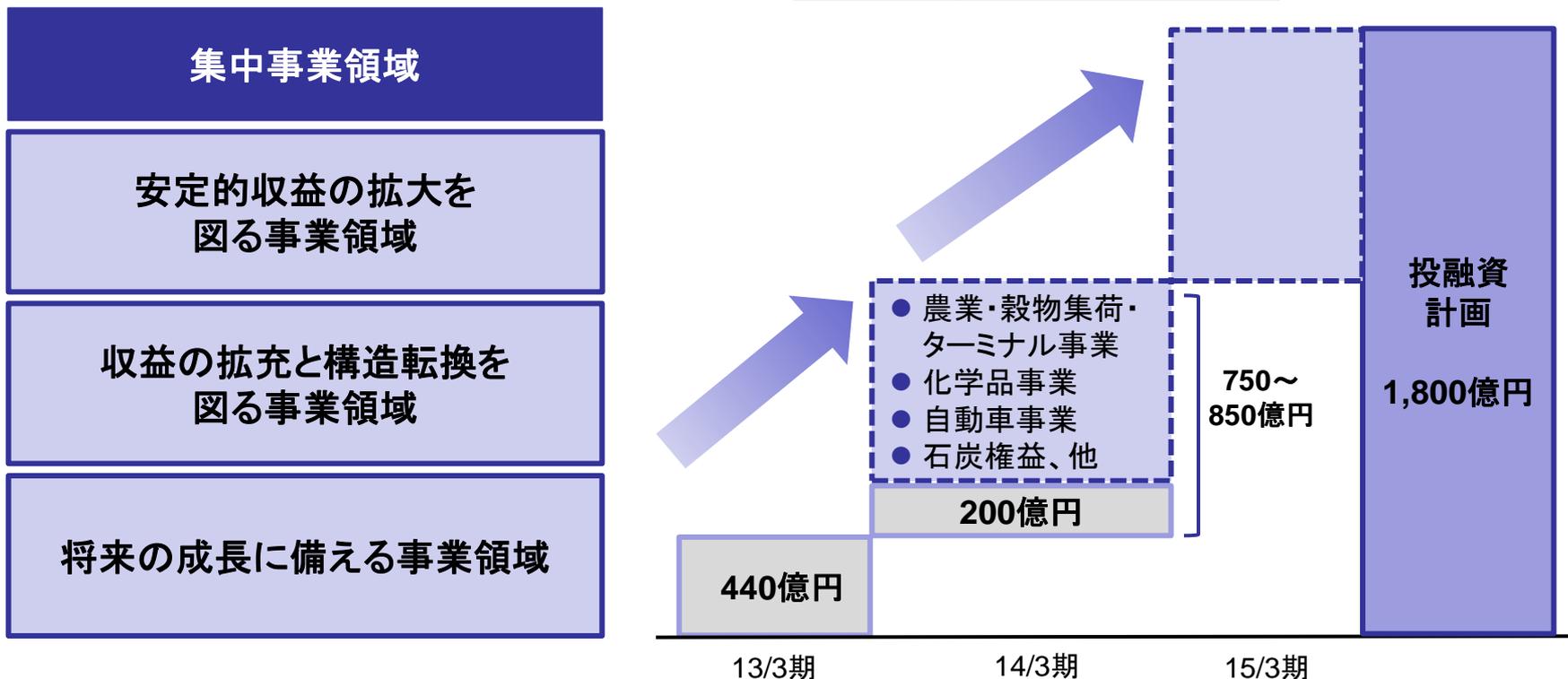
◆ **高度化成肥料**  
タイ、フィリピン、ベトナム  
でシェアトップクラス  
◆ **海外工業団地**  
ベトナム、インドネシア、  
インドにおいて事業展開

# ■ 中期経営計画2014 — 投融資計画 —

投融資を加速させていく一方で、資産の入れ替えを継続し資産の質を改善

- 集中事業領域を中心にアジア、アフリカ、南米等の新興国の優良案件へ投融資を実行
- 環境変化にスピーディーに対応する体制で、柔軟に投融資を推進
- 中期経営計画期間中での収益積み上げを加速

現行中計期間中の投融資イメージ



# ■ 中期経営計画2014 — 主な新規投融資案件 —

## 太陽光発電事業



(ドイツミックスドルフ太陽光発電事業)



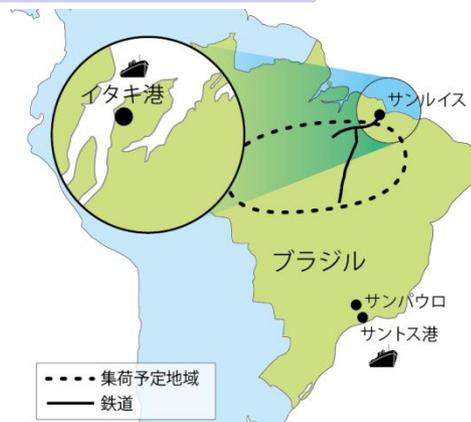
### 価格・期間が固定された長期売電契約の締結により、安定収益ポートフォリオを構築

- ・青森県上北郡六ヶ所村、北海道斜里郡、愛知県知多郡、熊本県球磨郡の4ヶ所にて、総事業費約350億円、パネル容量合計106メガワットのメガソーラー(大規模太陽光発電)事業に参入
- ・順次着工、運転開始後、20年間に亘り税込価格42円/kWhで売電契約を締結
- ・双日の既存事業であるドイツミックスドルフ太陽光発電事業とあわせ、再生可能エネルギー発電事業の基盤構築を目指す

## 農業・穀物集荷・ターミナル事業



(CGG社港湾ターミナル完成図)



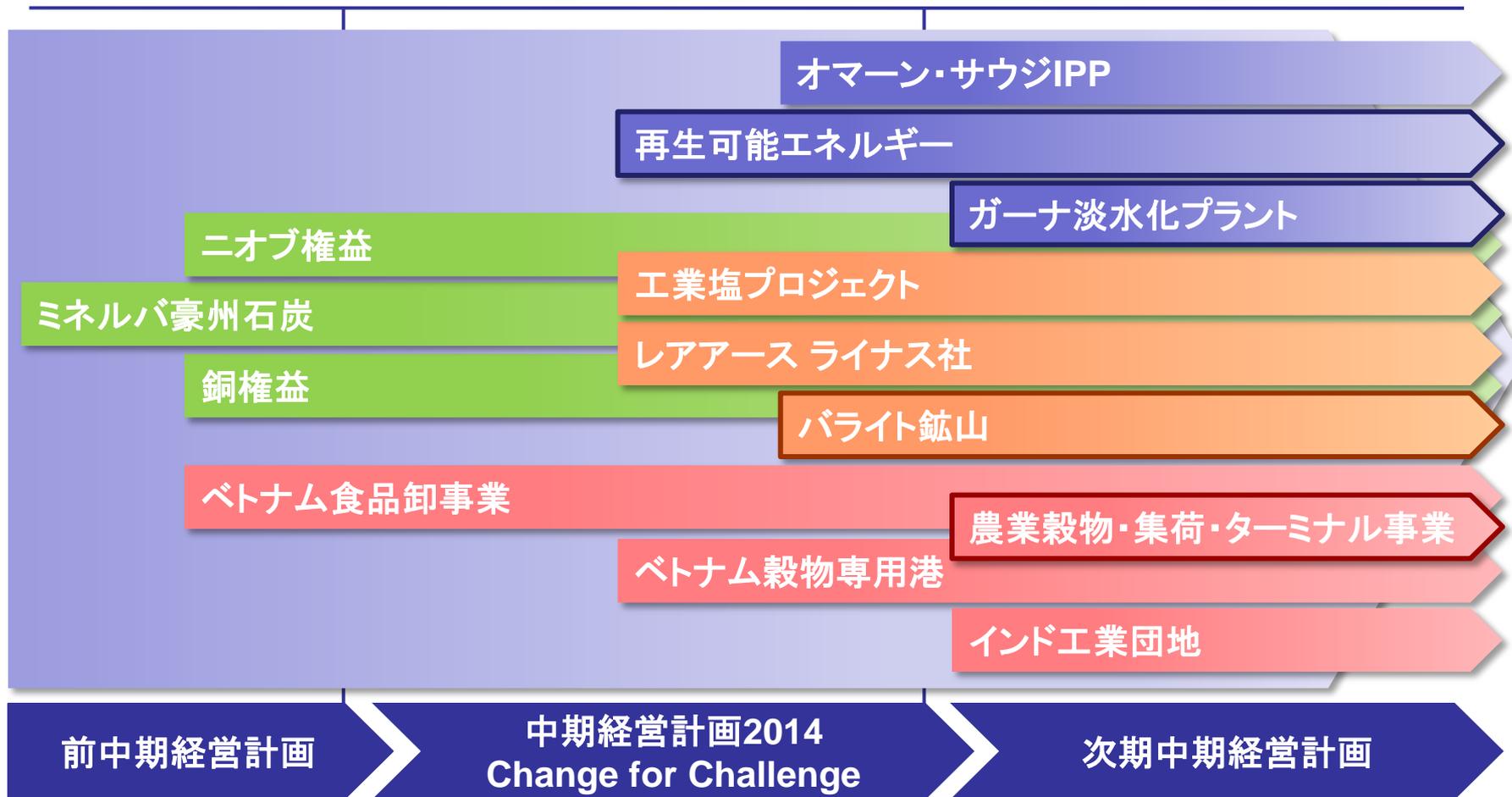
### 南米・アジア間の農業・穀物バリューチェーンを拡充し、1,000万トンの穀物取扱いを目指す

- ・15万haの農地を保有、年間200万トンの穀物集荷を行うCGGグループに出資
- ・ブラジル北部イタキ港の使用により、同国の長期滞船問題を解消、アジアまでの航行距離の短縮により競争力を確保
- ・ASEAN域内最大規模の穀物専用港を有するベトナム製粉事業会社等アジアで展開する事業と結び付け、2020年までに双日グループ全体で1,000万トンの穀物取扱いを目指す

# ■ 中期経営計画2014 –収益貢献ロードマップイメージ図–

中期経営計画2014の新規投融資の収益貢献は次期中期経営計画開始の2015年より本格化

(各案件の収益貢献時期。部門毎に色分け: ■ 機械部門 ■ エネルギー・金属部門 ■ 化学部門 ■ 生活産業部門)

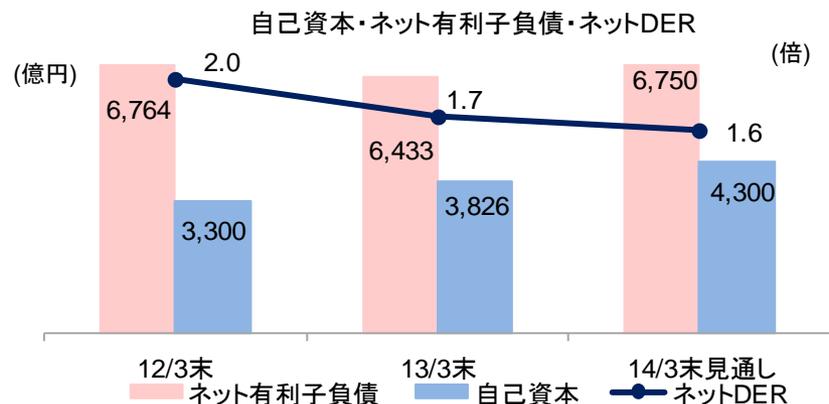
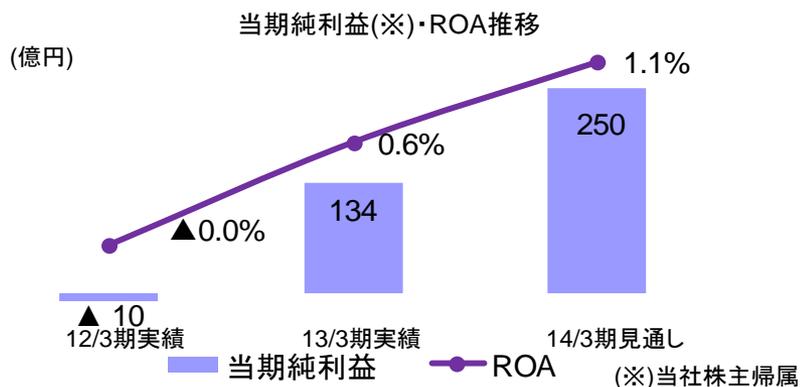


※現行中期経営計画中に投資を実行した案件は太枠

# ■ 中期経営計画2014 一定量計画一

<日本基準(ご参考)>

(億円)	13/3期実績	14/3期 期初見通し (2013/5/8公表)	14/3期 修正見通し (2013/11/6公表)	15/3期 中計数値
当期純利益 (当社株主帰属)	134	250	250	450
総資産	21,501	22,100	22,100	21,200
ネット有利子負債	6,433	6,950	6,750	6,700
自己資本	3,826	4,100	4,300	3,800
ネット DER	1.7倍	1.7倍	1.6倍	2倍以下
ROA	0.6%	1.1%	1.1%	2.0%以上



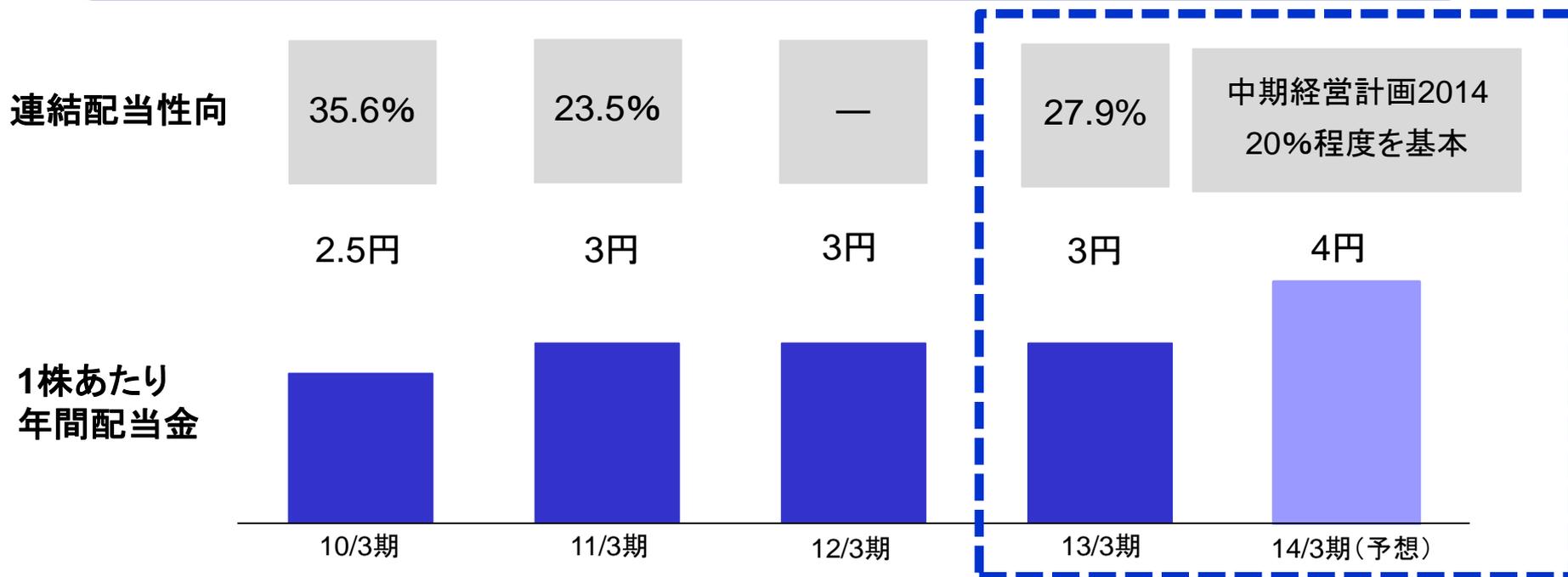
### III. 配当政策

---

## ■ 配当政策

### 配当に関する基本方針

安定的かつ継続的に配当を行うとともに、内部留保の拡充と有効活用によって企業競争力と株主価値を向上させることを経営の重要課題のひとつと位置付けております



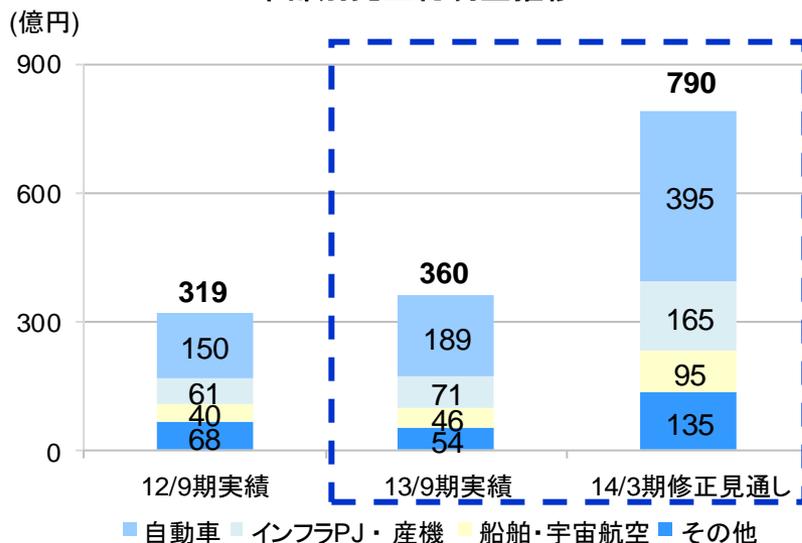
(注) 連結配当性向につきましては、IFRSにおいては当期純利益(当社株主帰属)をベースに、期末発行済普通株式数にて算定しております。

## 【補足資料1】 セグメント情報

---

# ■ 機械セグメント

## 本部別売上総利益推移



## 当期純利益(※)推移



## 今期の見方

**当期純利益(※)13/9期実績 16億円(期初見通し55億円⇒変更なし)**

- 自動車  
海外の自動車事業が堅調に推移
- インフラプロジェクト・産機  
足元の進捗が順調。下期もプラント案件の計上を見込む
- 船舶・宇宙航空  
海運市況が引き続き低迷しており、厳しい進捗

## 13/9期決算実績(補足)

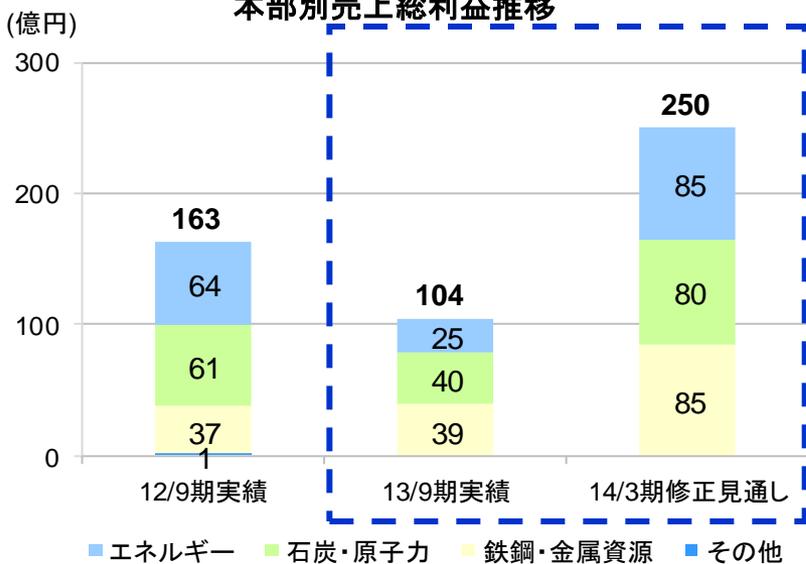
(億円)

	12/9期実績	13/9期実績	14/3期修正見通し
売上総利益	319	360	790
営業活動に係る利益	35	43	-
持分法による投資損益	15	17	-
当期純利益(※)	▲ 3	16	55
総資産	-	4,160	-

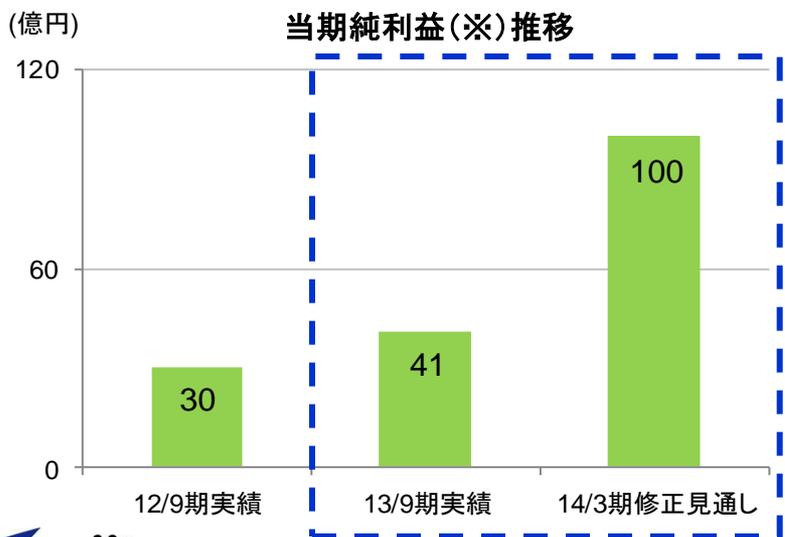
(※)当社株主帰属

# ■ エネルギー・金属セグメント

本部別売上総利益推移



当期純利益(※)推移



## 今期の見方

当期純利益(※)13/9期実績 41億円(期初見通し160億円⇒修正見通し100億円)

- エネルギー  
エネルギー権益関連での費用増加等により、見通しを修正
- 石炭・原子力  
石炭市況が軟調な中、販売数量増加やコスト削減効果等により堅調に推移
- 鉄鋼・金属資源  
金属資源の価格低迷等により、見通しを修正

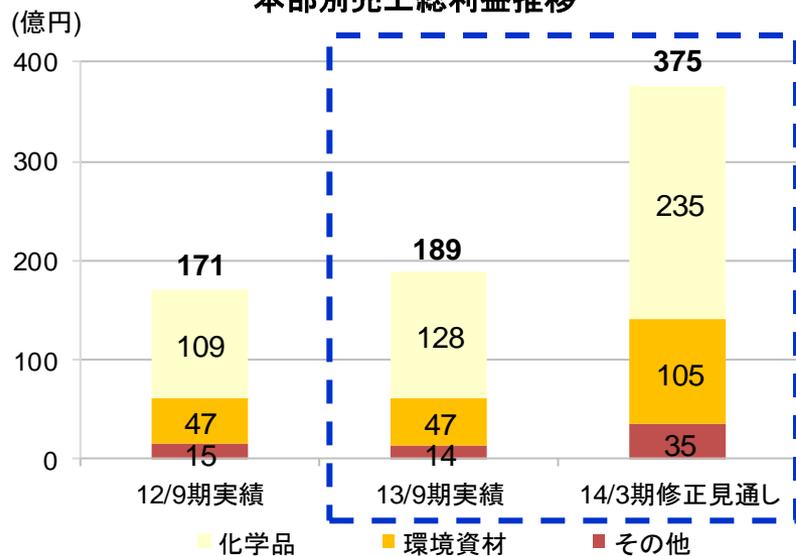
## 13/9期決算実績(補足)

	12/9期実績	13/9期実績	14/3期修正見通し
売上総利益	163	104	250
営業活動に係る利益	37	▲ 14	-
持分法による投資損益	38	67	-
当期純利益(※)	30	41	100
総資産	-	5,696	-

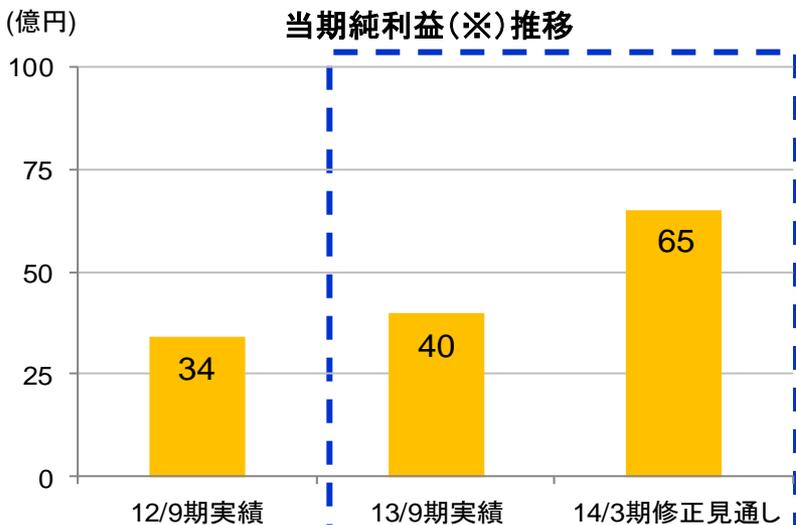
(※)当社株主帰属

# ■ 化学セグメント

本部別売上総利益推移



当期純利益(※)推移



## 今期の見方

当期純利益(※)13/9期実績 40億円(期初見通し55億円⇒修正見通し65億円)

- 化学品  
アジア地域での化学品関連取引の堅調な推移等により、見通しを修正
- 環境資材  
一部商品の需要減退はあるも、円安の影響もあり概ね見通し通りの進捗

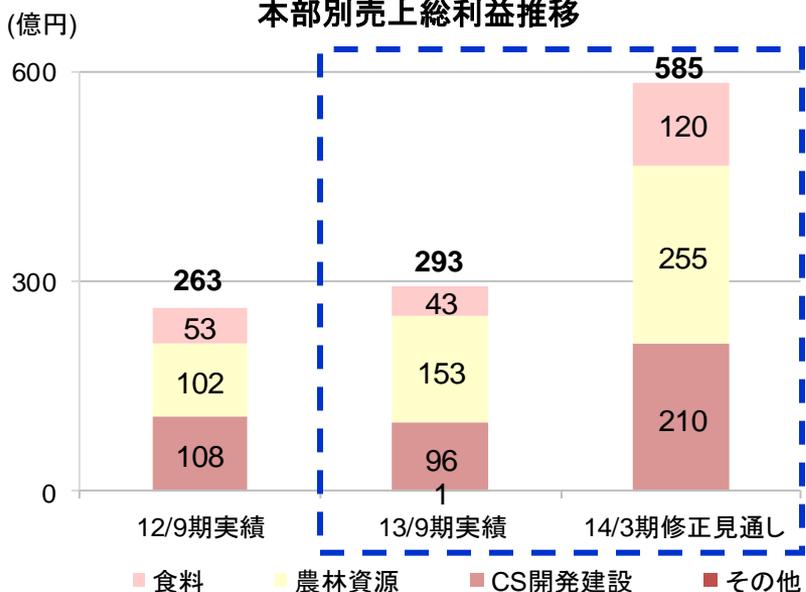
## 13/9期決算実績(補足)

	12/9期実績	13/9期実績	14/3期修正見通し
売上総利益	171	189	375
営業活動に係る利益	52	70	-
持分法による投資損益	5	3	-
当期純利益(※)	34	40	65
総資産	-	2,690	-

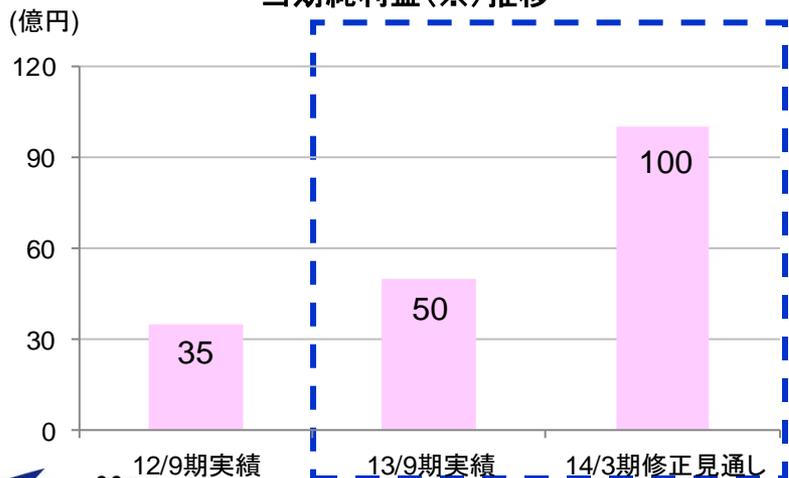
(※)当社株主帰属

# ■ 生活産業セグメント

本部別売上総利益推移



当期純利益(※)推移



## 今期の見方

当期純利益(※)13/9期実績 50億円(期初見通し85億円⇒修正見通し100億円)

- 食料  
下期での取扱数量増加を見込む
- 農林資源  
海外肥料事業が好調、木材取引も堅調に推移し、見通しを修正
- コンシューマーサービス・開発建設  
海外工業団地事業を中心に堅調な推移を見込む

## 13/9期決算実績(補足)

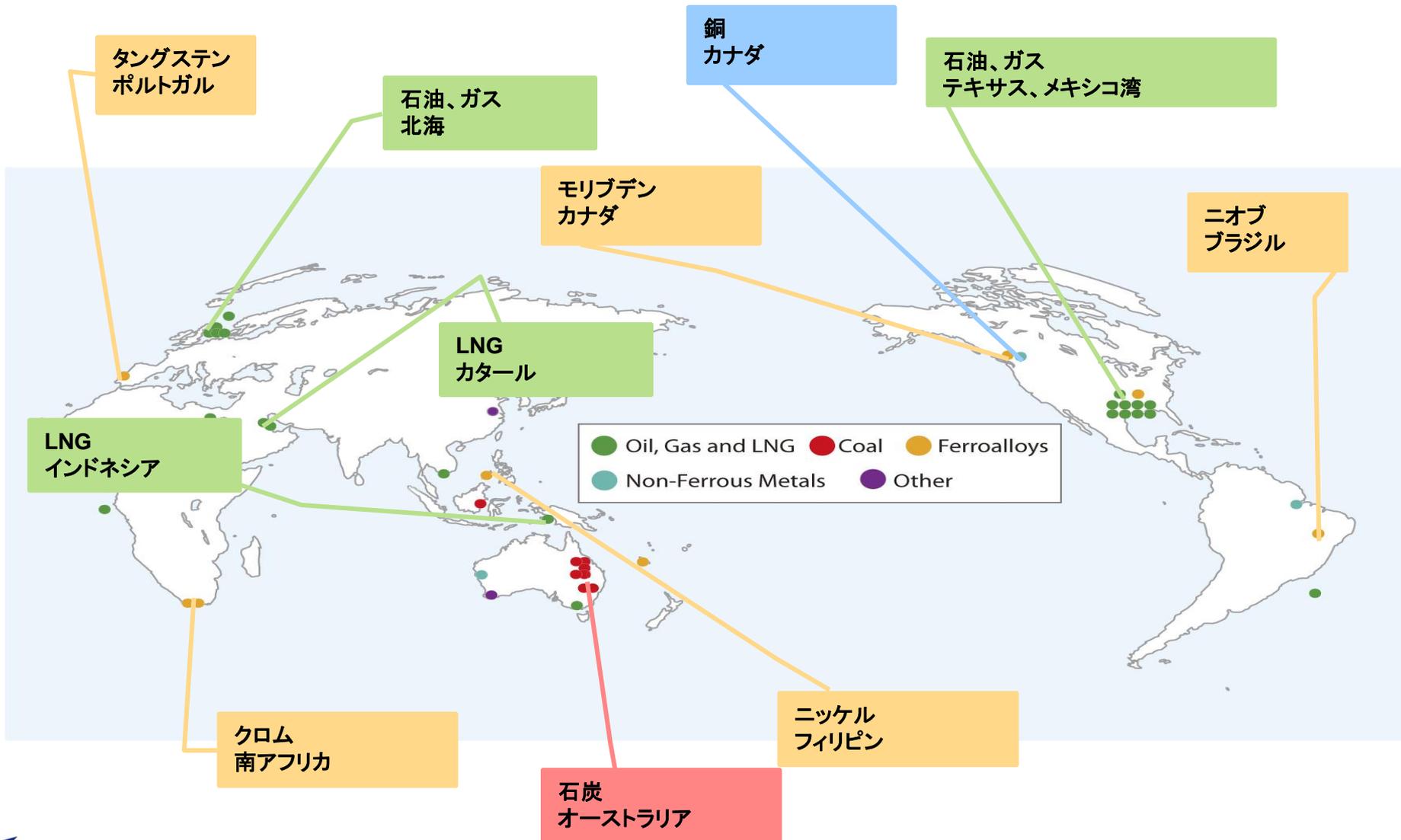
	12/9期実績	13/9期実績	14/3期修正見通し
売上総利益	263	293	585
営業活動に係る利益	79	93	-
持分法による投資損益	8	17	-
当期純利益(※)	35	50	100
総資産	-	4,360	-

(※)当社株主帰属

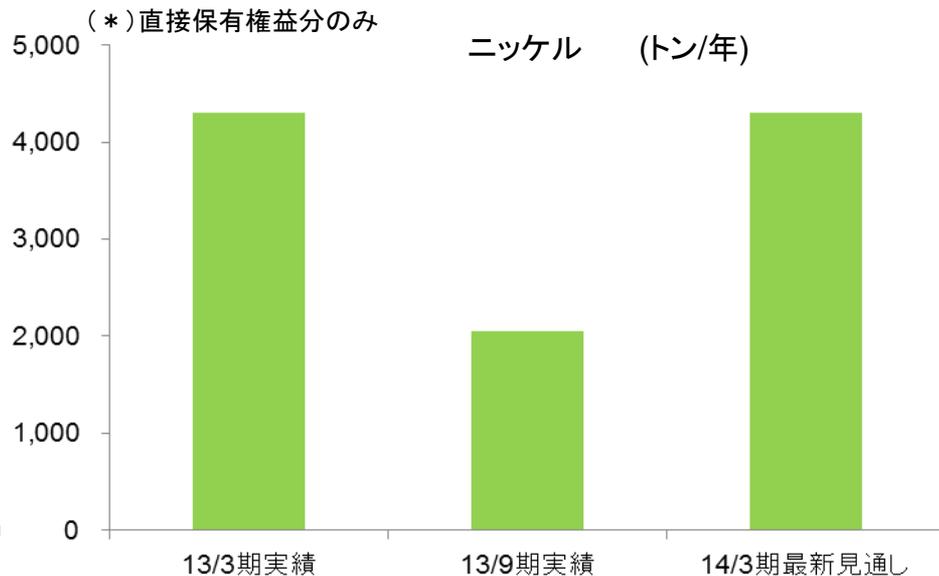
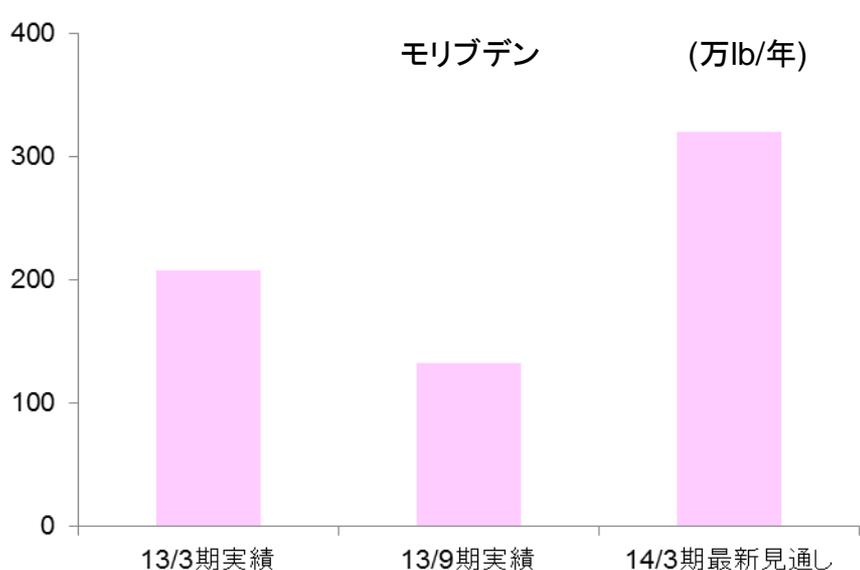
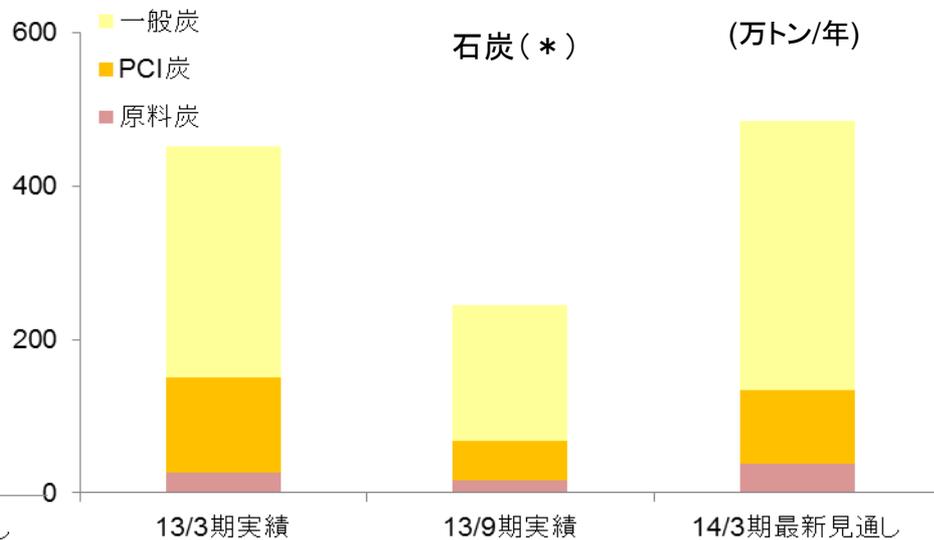
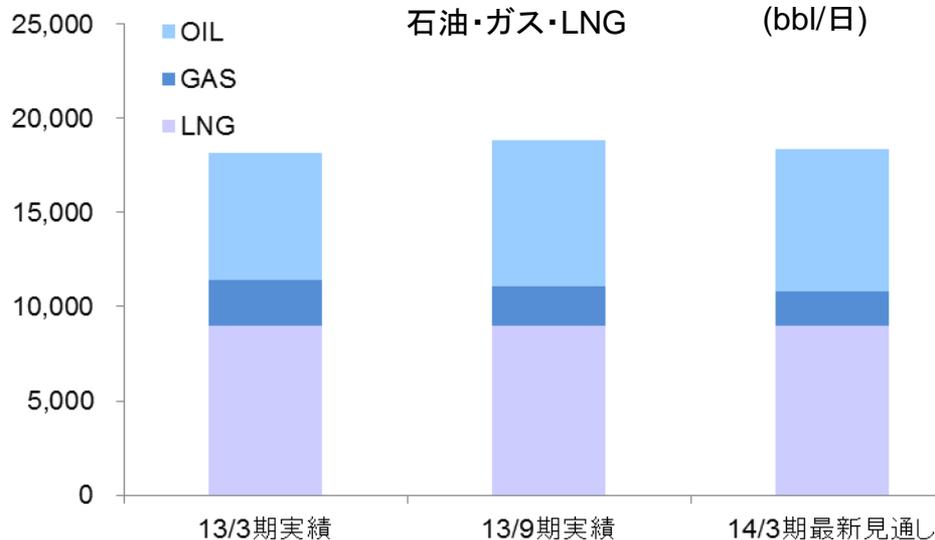
## 【補足資料2】 資源関連



# ■ 主要権益一覧



# ■ 主要権益持分生産量



## 【補足資料3】 決算実績サマリー

---

## ■ PL推移(国際会計基準)

(億円)	12/3期 実績	13/3期 実績	13/9期 実績
売上高 (日本基準)	43,217	39,345	20,022
売上総利益	2,171	1,872	995
営業活動に 係る利益	575	255	213
税引前利益	585	281	263
当期純利益 (当社株主帰属)	▲10	134	140
基礎的収益力	658	385	291
(ご参考)			
ROA	▲0.0%	0.6%	—
ROE	▲0.3%	3.8%	—

## ■ BS推移(国際会計基準)

(億円)	11/4/1 移行日	12/3末	13/3末	13/9末
総資産	21,701	21,907	21,501	21,655
自己資本	3,463	3,300	3,826	4,276
リスクアセット (自己資本対比)	3,300 (1.0倍)	3,300 (1.0倍)	3,400 (0.9倍)	3,400 (0.8倍)
流動比率(%)	149%	143%	152%	164%
長期調達比率(%)	77%	73%	76%	80%
自己資本比率(%)	16.0%	15.1%	17.8%	19.7%
ネット有利子負債	6,972	6,764	6,433	6,163
ネットDER(倍)	2.0倍	2.0倍	1.7倍	1.4倍

## ■ PL推移(日本基準)

(億円)	08/3期 実績	09/3期 実績	10/3期 実績	11/3期 実績	12/3期 実績(*)	13/3期 実績
売上高	57,710	51,662	38,444	40,146	44,942	39,559
売上総利益	2,777	2,356	1,782	1,927	2,316	1,921
営業利益	924	520	161	375	645	333
経常利益	1,015	336	137	453	622	345
当期純利益	627	190	88	160	▲36	143
基礎的収益力	1,017	483	144	419	650	354
(ご参考)						
ROA	2.4%	0.8%	0.4%	0.7%	▲0.2%	0.7%
ROE	13.0%	4.8%	2.6%	4.7%	▲1.1%	4.3%

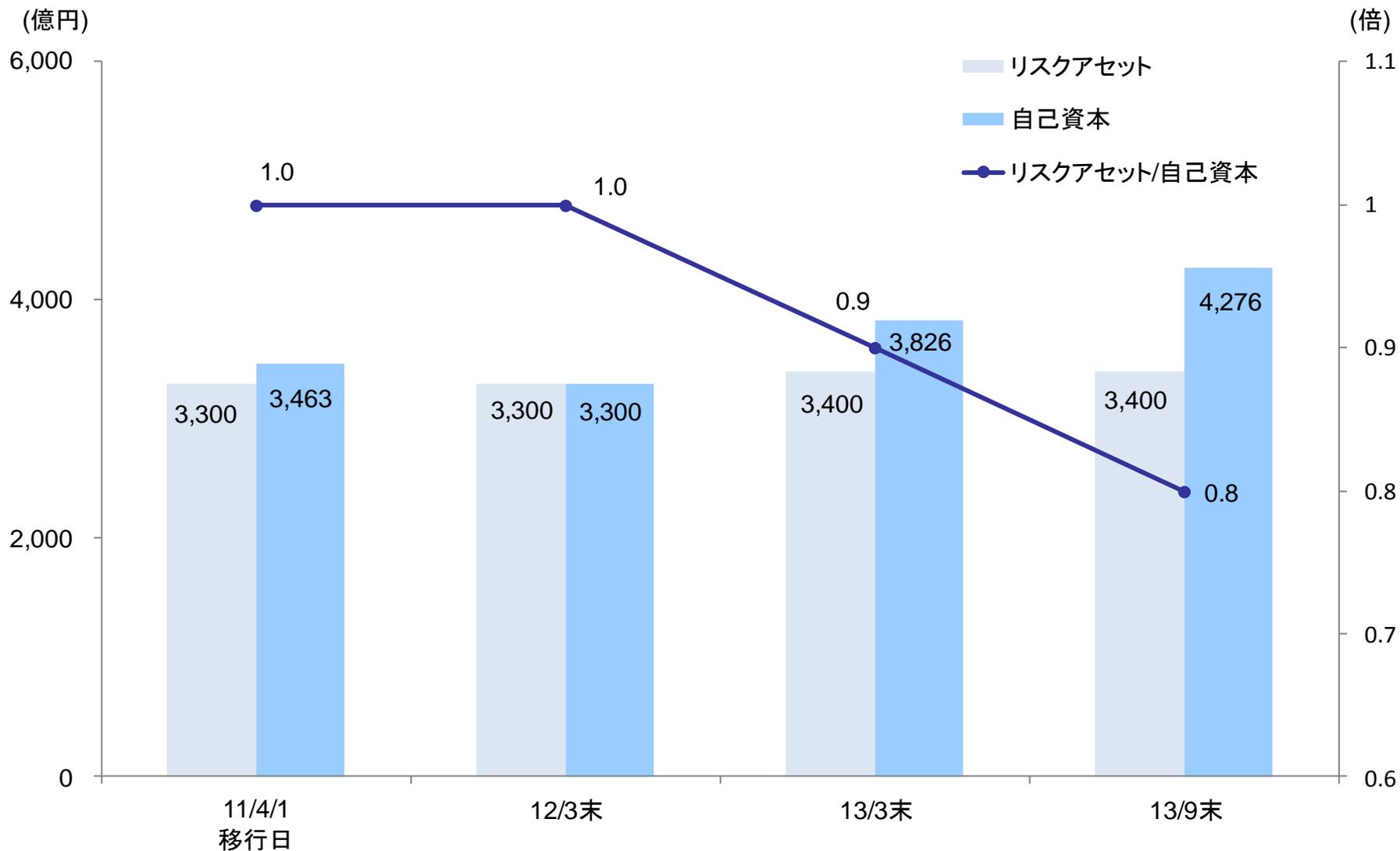
(\*) 当社は連結グループでの適時な業績管理と迅速な経営施策・部門戦略の実行を図るため、主要な海外の連結子会社の決算日を親会社の決算日に統一し、決算日変更会社については15ヶ月決算を実施しております。

## ■ BS推移(日本基準)

(億円)	08/3末	09/3末	10/3末	11/3末	12/3末	13/3末
資産合計	26,694	23,130	21,609	21,170	21,206	20,864
自己資本(※) (純資産合計)	4,760 (5,203)	3,190 (3,555)	3,524 (3,774)	3,300 (3,555)	3,059 (3,305)	3,535 (3,825)
リスクアセット (自己資本対比)	3,800 (0.8倍)	3,500 (1.1倍)	3,200 (0.9倍)	3,100 (0.9倍)	3,000 (1.0倍)	3,000 (0.8倍)
流動比率(%)	121%	142%	153%	142%	137%	147%
長期調達比率 (%)	54%	67%	74%	72%	71%	74%
自己資本比率 (%)	17.8%	13.8%	16.3%	15.6%	14.4%	16.9%
ネット有利子負債	9,189	8,653	7,378	7,006	6,478	6,162
ネットDER(倍) (ネットDER(倍) 純資産合計ベース)	1.9 (1.8)	2.7 (2.4)	2.1 (2.0)	2.1 (2.0)	2.1 (2.0)	1.7 (1.6)

(※) 自己資本＝  
純資産－少数株主持分

## ■ リスクアセットおよび自己資本推移(国際会計基準)





***sojitz***

***New way, New value***